研究構想シート

学校名	松江市立義務教育学校八束学園
氏名	肥後　和子

A　研究主題　確かな学力を身につけた児童生徒の育成　～表現力の向上をめざして～

B　研究の目的　子どもが主役の授業改善！

C　子どもの実態

〇自己肯定感が高い
〇地域のことが好き
〇話し合い活動ができる
●基礎学力の定着に課題がある
●家庭学習の時間が短い
●考えや説明を条件に合わせて書く力に課題がある

E　手立て・内容（研究仮説）

1　学園生が自信をもって表現することができ、多様な表現に共感し合える学級づくり。
・Q-Uを使った学級のアセスメント
・学園生の表現を助けるICTについての教職員研修
2　多様な表現を目指して、基礎学力を定着させる。
・根拠を明確にして伝えるための国語力
・数学的表現を支える算数・数学の理解
3　学力調査を授業改善のPDCAサイクルに活用する。
・P（改善策をもとにした研究計画）　D（学園全体での取り組み）
　C（学力調査）　A（分析・改善策）

F　検証方法

・授業改善のための一人１授業研究授業を実施し、取り組みを検証する。
（授業デザインシート作成にあたっては、授業の中に表現し合う場面と表現力を育成する手立てを記載し、ねらいを明らかにして授業に臨むようにする。）
・メディア主任を中心にICTミニ研修を実施し、日々のICTの取り組みの検証をするとともに、ICT活用初心者への支援をする。

G　研究計画

１学期・・・研究構想図作成・修正　　一人１授業の計画作成
　　学園全体での取り組みについて確認　　一人１授業実践

夏季休業日・・・指導案検討会２回

２学期・・・授業実践と振り返り

３学期・・・事業実践と振り返り　研究のまとめ
　　次年度計画

D　めざす子どもの姿

・正しい文章表現で伝えることができる。
・根拠を明確にして伝える、順序立てて伝えるなど、教科の特性に沿った表現ができる。
・多様な表現方法を使うことができる。
・意欲的に表現しようとしている。